Akabori Museum Information

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館情報 No. 237

今日は資料館へちょっとタチヨリ！　令和8年（2026）11月

企画展　12月20日(日)まで 開催中

昭和のカタチ

昭和100年

前号から3回にわたって、企画展で登場する昭和の資料を紹介します。２回目は世界市場で高く評価され、「世界のソニー」と呼ばれたソニーの家電製品を紹介します。



◀真空管式テープレコーダー
東京通信工業 昭和 29 年
ソニーの前身である東京通信工業のテープレコーダー。国家公務員大卒初任給が 8,700 円だった当時に 69,500 円と大変高価でした。同社は、昭和 25 年に国産初のテープレコーダーを発売しています。

▶トランジスタテレビ
ソニー5-202「マイクロテレビ」
昭和 38 年





◀テープレコーダー
ソニーTC-900S 昭和 40 年
音の大きさに合わせて録音レベルを自動調整する「ソニオマチック」を搭載。小型で持ち運びができ、誰でも手軽に録音できるなど、新しい技術を家庭で使える「カタチ」にした、ソニーらしい製品です

▶テープレコーダー
ソニーTC-211
昭和 37 年頃



▶トランジスタラジオ ソニーICF-110
昭和 44 年
真空管式ラジオより小型・軽量になったトランジスタラジオは、持ち運んで楽しめる新しいラジオのカタチでした。ソニーは、小型化と性能を強みに世界市場を切り開き、「世界のソニー」と呼ばれるようになりました



▼ベータ式ビデオカセットレコーダー
ソニーSL-8500「ベータマックス X2」
昭和 52 年
テレビ番組を家庭で録画し、好きな時間に見られるようにした「ベータマックス」。昭和 50 年にソニーが発売すると、翌年に日本ビクターが「VHS」を発売し、規格をめぐる激しい「ビデオ戦争」となりました。





◀CD プレーヤー
ソニーCDP-101 昭和 57 年
世界で初めて発売された家庭用 CD プレーヤー。CD の登場は、カセットテープから音楽の楽しみ方を大きく変えました。

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

休館日：月曜日（月曜日が祝日は翌日）11月は2・9・16・24・30 日が休館日です。
開館時間：午前9時～午後5時（入館は4時 30 分）　群馬県伊勢崎市西久保町二丁目 98
電話 0270-63-0030　FAX0270-63-0087　Email：siryokan@city.isesaki.lg.jp　入館無料